

人材育成の手法

社会福祉法人 大乘福社会
理事長 森 木 聡 人
幼保連携型認定 大乘こども園 園長
相談支援事業所フロンライン 主任相談支援専門員



R7相談支援現任研修@広島



どこから来て どこへ向かうのか



私が小学1年生の時に、母が脳腫瘍の後遺症により、左半身は手も足も眼も耳も機能を失い、顔面も麻痺した障害状態となりました。


病前、私の身の回りの持ち物の全てに、パンダの刺繍を入れてくれるほど器用な母でしたが、ひとたび障害状態になると働けないという烙印を押され、今のようなヘルパー等による支えの無い中で、私はヤングケアラーとして育ちました。

この境遇から私は、障害のある人の多様な稼得機会の保障とお年寄りも含めた介護保障、子供からお年寄りまでの様々な福祉課題をその人ひとりの事にせず社会化し、互いの幸福を願いながら「地域・社会全体で支えあう」という理念を社会通念へと高め実現させていきたいと考えています。



幼保連携型認定 大乘こども園 相談支援事業所 フロントライン

 **暮らしの最前線で寄り添う**

 ひとりひとりが

あらゆる分野の最前線で活躍

できるよう支える

 どんな困難からも専門職として

最前線から逃げない

 専門職として

トップランナーであるべく努力し続ける
















AKIHITO MORIKI @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

3



直近の主な仰せつかりごと

-  社会福祉法人 大乘福社会 理事長 / 幼保連携型認定 大乘こども園 園長 / 相談支援事業所 フロントライン 主任相談支援専門員
-  日本相談支援従事者連絡協議会 (JCC) 会長 (業界団体)
-  全国介護事業者連盟 障害福祉事業部会 広島県支部 支部長 (業界団体)
-  広島県障害者相談支援事業連絡協議会 会長 (業界団体)
-  広島県介護障害福祉事業者政治連盟 幹事長 (政治団体)
-  広島県社会福祉審議会 委員 (広島県庁)
-  広島県障害者自立支援協議会 委員 / 相談支援・研修部会 委員 (広島県庁)
-  広島県相談支援体制整備事業 アドバイザー (広島県庁)
-  竹原市特別支援教育相談委員会 推進員 (竹原市教育委員会)
-  大崎上島町自立支援協議会 委員 / 障害認定審査会 委員 (大崎上島町役場)
-  一般社団法人 福祉キャリアセンター 理事 (研修実施機関)
-  東北福祉カレッジ 相談支援・サビ管等研修委員会 委員長 (研修実施機関)
-  IGL医療福祉専門学校 介護福祉学科 非常勤講師 (国家資格者養成校)

AKIHITO MORIKI @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

4



福祉は“文化” 文化に突然変異は無い

Respect と Heritage

誰かが誰かに影響を受けて
また誰かに影響を与えながら
受け継がれていく

AKIHITO MORIKI @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

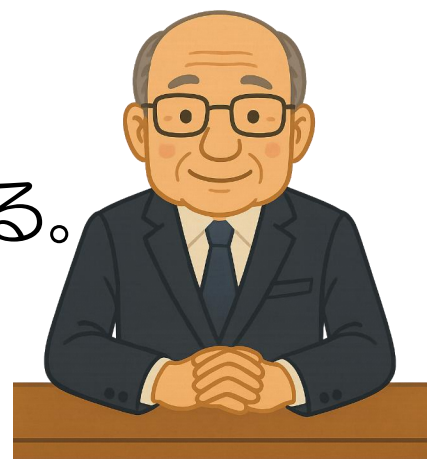
5



大切なことは

問題への答えではなく、
問題についての理解である。

ピーター・F・ドラッカー「マネジメント(中巻)」P139



AKIHITO MORIKI @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

6



スーパービジョンによる 人材育成

スーパービジョンには明確な定義が無いが…

「**答え**」を教えるのではなく、
「**異なる視点**」に立つことや、
「**気づき**」を促したり共有したりしながら、
「**理解**」を深めていくことに適した方法。

- ① **管理的機能**：業務の遂行
- ② **教育的機能**：知識・技術の向上
- ③ **支持的機能**：人材育成の基盤（特に重要）

AKIHITO MORIKI @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

7



テキトーにホメてちゃダメ 山本五十六の名言を曲解しないこと

やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、
ほめてやらねば、人は動かじ。

- ✓ してみせたとおりの**手順**が守られているか？
- ✓ 言って聞かせたとおりの**成果**があげられているか？

⇒ **プロセスと成果が問われている**のであって、
頑張っていることが褒められる基準ではないし、
出来てるつもりが最も危険。

AKIHITO MORIKI @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

8



スーパービジョンの方法

価値ある質問で解像度を上げていく

- ① **個別スーパービジョン**：バイザーとバイザーの信頼関係、特にバイザーへの尊敬、バイザーの持つ情報と実践知の正確さが大事。
- ② **グループスーパービジョン**：協議会の部会などでの最も一般的な手法で、集団知を醸成しやすい。
- ③ **ピアスーパービジョン**：相談支援専門員どうしが“本音”で話せる関係づくりが重要。
- ④ **ライブスーパービジョン**：同行訪問したり、会議に同席したり、バイザーも現場に赴くことが必須。

AKIHITO MORIKI @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

9



その山に登ったことのある人しか その山の道案内はできない

♣ 「たぶん、こうすれば上手くいくはず」という話に終始し、ロールモデルとなる成功体験が語れない。

♣ 自身の失敗体験に基づく課題の提言や、具体的な解決策の示唆が出来ない。

⇒ すべては実際に体験したことが無いのに語られているから…

⇒ そのスーパーバイザーは本物か？



AKIHITO MORIKI @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

10



木を見て森を見ず？

木だけ見てた人には
俯瞰して森を見るように、
森だけを見てた人には
木に目をやるように示唆されるけど、
最も注目すべきは
『**木々の関係性**』。

根と根が絡み合うことで、
強さを増したり、
困難さを増したりする。



AKIHITO MORIKI © OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

11



困難“化”事例は 時間軸で捉えよう

現在だけを切り取って「困難事例」として見ないこと。



過去のどこで困難化したのか、
可逆的な事柄であれば遡って解決を図り、
不可逆な事柄であれば解決に拘らず新しい道
を歩み始める方が良い。

未来に困難化が予見されるのであれば、
その時期が訪れるまでに手立てを
講じなければならない。



AKIHITO MORIKI © OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

12



GSVを前向きに 体験することのできる例

グループスーパービジョンを、とりあえず体験してみたいという場合には、必ずしも実在するケース（事例）を用いる必要はない。

まずはプロセスを体験してみて、スーパービジョンという手法を参加者が前向きに捉えられることが大切。そこで「旅行に行くとしたら」等は、最も用いやすいテーマ。

そもそも福祉を表す「Welfare」の語源は「良い旅」。



AKIHITO MORIKI @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

13



福祉サービスの基本理念 社会福祉法 第3条

福祉サービスは、

個人の**尊厳の保持**を旨とし、

その内容は、福祉サービスの

利用者が心身ともに健やかに育成され、

又はその有する能力に応じ

自立した日常生活を営むことが

できるように**支援**するものとして、

良質かつ**適切**なものでなければならない。

AKIHITO MORIKI @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

14



言葉の端々に表れる 人権感覚



×ニーズを拾う

×計画に落とす

どちらも支援者の方が高い位置に
居るという潜在意識の表れか…

○ニーズを受けとめる

○計画に掲げる

利用者本人の視座から、支援者として
対等な関係で、行きつ戻りつ
に寄り添うことが求められている。

AKIHITO MORIKI @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

15



意思と意見の違いを 説明できるか？





ペルソナとバウンダリー

- 🐼 ペルソナとは、古典劇において役者が用いた仮面のことで、『人間の外的側面』。
(スイスの精神科医で心理学者のカール・グスタフ・ユングによる)
- 🐼 バウンダリーとは、『自分と他者を区分する意識的な境界線』。
(東京成徳大学准教授で心理学研究者の菊池春樹氏らによる)
- 🐼 さらに『個人の境界線』と『職業的な境界線』を越えた振る舞い(境界侵害)には、スタッフ・利用者ともに、気をつける必要がある。



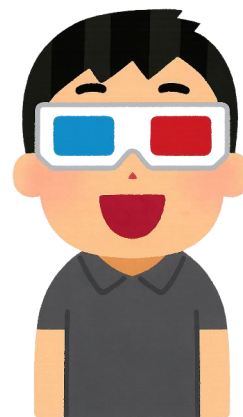
AKIHITO MORIKI @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

17



どのような視点を大切に育成するのか

- 🐼 人権・尊厳
- 🐼 意思決定・意見形成・実現
- 🐼 自立支援・ストレングス
- 🐼 時間軸
- 🐼 事柄と事柄、人と人、情報と情報、環境と環境の関係性
- 🐼 実体験・実践知・再現性
- 🐼 ペルソナ・バウンダリー・支援者の認知



AKIHITO MORIKI @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

18



人間関係の不思議

相手の中にあると信じたものが
相手の中に育つということ

